

## 令和3年度重点（案）について

### 1. 重点について

「豊島区教育ビジョン2019」に掲げた基本方針に基づき、時代の要請に応える教育改革と教育の質の向上を目指すために、教育を取り巻く社会の動向、社会状況の変化等を踏まえて、教育委員会と区長部局が特に緊密に連携する必要がある事項について「令和3年度の重点」として取り組みを進める。

### 2. 令和3年度の重点について

#### (1) 概要

- 国及び区政の動向及び新型コロナウイルス感染症の長期化、タブレット一人1台体制の実現等を踏まえた上で、令和3年度の重点を実現するための柱を以下のとおりとする。

【としま教育ビジョン2019 令和3年度の重点を実現するための3つの柱】

- ①SDGsの理念に基づいた教育の実践
- ②新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底
- ③教育のICT化の推進

- 令和3年度重点は、取り組み状況及び課題等を踏まえた上で、令和2年度重点を基本として決定する。
- 令和2年度重点上にない近年課題となっている事項については、新たな重点施策とする。

#### (2) 令和3年度の重点（案）

別紙のとおり

### 3. 今後の予定

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 4月28日（水）～5月6日（木） | 教育委員の意見を踏まえて修正 |
| 5月11日（火）         | 第5回定例会で議案として決定 |
| 7月中              | 総合教育会議で決定      |

## 【としま教育ビジョン 2019 令和3年度の重点を実現するための3つの柱】

**SDGs の理念に基づいた教育の実践**

- ◇SDGs 未来都市として、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、様々な違いを認め合い、個々の成長を促し支える教育を目指す。
- ◇SDGs 達成に向け、子どもたちに将来必要な力を確実に身に付けさせる教育を実現するために、全小・中学校の教育課程に「SDGs 達成に向けた学校の取組」を位置付けるとともに、各教科の学習内容と SDGs を関連付けた教育活動を推進する。

**新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底**

- ◇新型コロナウイルス感染症対策が続く中、幼児・児童・生徒保護者等の不安の解消に向けて、感染症対策の最新の知見に基づく各種情報の共有ができるよう、学校と教育委員会のより一層の連携体制を強化する。
- ◇幼児・児童・生徒が、新型コロナウイルス感染症に対して正しく理解し、適切な行動がとれるよう発達段階を踏まえた指導を行う。また、「感染症を経つこと」、「感染経路を断つこと」、「抵抗力を高めること」を徹底し、集団感染リスクへの対応を行う。

**教育の ICT 化の推進**

- ◇学校運営において ICT を効果的に活用し、時代の変化に対応した教育を実践するとともに、学習活動の量的・質的な充実や多様な教育課題への対応を行う。
- ◇幼児・児童・生徒の健やかな成長と学びの連続を保障するために、学校の ICT 環境の整備を通じて、良好な教育環境を確保する。

【基本方針 1】

教育ビジョン 2019	令和 2 年度		令和 3 年度の重点									
	令和 2 年度の重点	●取組状況・成果    ◎今後の課題										
<p>【基本方針 1】 生きる力の土台となる 就学前教育の充実</p>	<p>■ 就学前教育・保育の内容の充実</p> <p>□質の高い教育・保育を目指し、公私立すべての幼稚園・保育所等において、幼児の心身の調和のとれた発達を支え、幼児一人一人を大切に、友達と共に育ち合う教育・保育の充実に向けて連携・協力して取り組む。</p>	<p>●区立幼稚園 園児数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和 3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 歳児</td> <td>3 9</td> <td>2 8</td> </tr> <tr> <td>5 歳児</td> <td>5 9</td> <td>4 0</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎H29 をピークに区立幼稚園の園児数が激減しており、適切な集団保育を実施できない恐れがある。</p> <p>◎小学校への円滑な接続と就学前教育の充実のため、公私立全ての幼稚園と保育施設、小学校を対象とした保幼小連携プログラムを作成するとともに、連携体制を整備する必要がある。</p>	年齢	令和 2 年度	令和 3 年度	4 歳児	3 9	2 8	5 歳児	5 9	4 0	<p>■ 就学前教育・保育の内容の充実</p> <p><b>継続</b></p> <p>□質の高い教育・保育を目指し、公私立すべての幼稚園・保育所等において、幼児の心身の調和のとれた発達を支え、幼児一人一人を大切に、友達と共に育ち合う教育・保育の充実に向けて、<b>区長部局</b>と連携・協力して取り組む。</p>
	年齢	令和 2 年度	令和 3 年度									
4 歳児	3 9	2 8										
5 歳児	5 9	4 0										
<p>□区立幼稚園については、「豊島区における幼児教育センター的機能」を有する施設としてのあり方を総合的に検討するとともに、保護者ニーズに最も合致した機能を有する施設形態である「認定こども園」化を目指して検討を進める。</p>	<p>●区長部局と連携し、池袋幼稚園と池袋第五保育園の分園型の認定子ども園の検討を始めた。</p> <p>◎令和 3 年度は、施設（ハード面）に係る法的な実現性及び経費、期間について具体化する必要がある。</p>	<p><b>修正</b></p> <p>□区立幼稚園については、<b>就学前期のそれぞれの時期にふさわしい指導の在り方を研究するとともに、区長部局と連携し、分園型の「認定子ども園」の設置実現を目指す。</b></p>										

【基本方針 2】

教育ビジョン 2019	令和 2 年度		令和 3 年度の重点																								
	令和 2 年度の重点	●取組状況・成果    ◎今後の課題																									
<p>【基本方針 2】 確かな学力の育成</p>	<p>■ <b>基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着</b></p> <p>□「基礎的・基本的な知識・技能の定着」の実現に向けた効果的な指導方法の開発や、実践的な研修を推進し、その成果を区立小・中学校に発信、普及する。</p>	<p>●令和 2 年度の区基礎的・基本的な内容の定着に関する調査の成果&lt;教科の総合ポイント&gt; (ポイント)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>全国平均値</th> <th>区平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校 3 年生</td> <td>65.5</td> <td>67.7</td> </tr> <tr> <td>4 年生</td> <td>66.0</td> <td>66.5</td> </tr> <tr> <td>5 年生</td> <td>68.6</td> <td>65.4</td> </tr> <tr> <td>6 年生</td> <td>70.4</td> <td>64.9</td> </tr> <tr> <td>中学校 1 年生</td> <td>59.9</td> <td>60.6</td> </tr> <tr> <td>2 年生</td> <td>59.0</td> <td>62.5</td> </tr> <tr> <td>3 年生</td> <td>63.7</td> <td>69.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>*対象学年：小学校 3～6 年、中学校 1～3 年 *実施時期：令和 2 年 12 月～令和 3 年 1 月</p> <p>●長期の臨時休業に伴う学習保障を優先し、指導内容や学習方法の見直し及び改善を行い、授業時数を確実に確保するとともに、学習内容の定着を目指した。</p> <p>●新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年間で予定していた研修回を 18%削減・精選するとともに、通所研修とオンラインによる研修を組み合わせ実施した。</p> <p>●令和 2 年度は、授業時数の確保を優先し、教員の業務精査を行ったため、「授業改善推進プラン」の作成は行わなかった。</p> <p>●指導主事等が、積極的に学校・園訪問を行い、定期的に行う「指導課訪問」のほか、授業力に関する研修、学校・園が抱える課題等に関する助言・指導を実施した。</p> <p>令和 2 年度の訪問実績は、74 回/月だった。</p> <p>◎学力の調査の成果等を基に、一人一人の習得状況を把握・分析し、個に応じた指導の一層の充実を図る必要がある。</p>	学年	全国平均値	区平均値	小学校 3 年生	65.5	67.7	4 年生	66.0	66.5	5 年生	68.6	65.4	6 年生	70.4	64.9	中学校 1 年生	59.9	60.6	2 年生	59.0	62.5	3 年生	63.7	69.8	<p>■ <b>基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着</b></p> <p><b>修正</b></p> <p>□「基礎的・基本的な知識・技能の定着」の実現に向けた効果的な指導方法の開発や、実践的な研修を推進し、その成果を区立小・中学校に発信、普及する。<b>また、コロナ禍であっても、タブレット PC を積極的に活用し主体的・対話的な深い学びの実現を目指す。</b></p> <p><b>継続</b></p> <p>□学校は、児童・生徒の学習に関する課題を解決するための方策を示した「授業改善推進プラン」を活用し、実施、評価、改善のサイクルの確立により、授業改善の取り組みの一層の充実を図る。</p> <p><b>継続</b></p> <p>□学校に指導主事等を派遣し、学校が抱えている諸課題の解決に向けた指導・助言を行い、各校の授業改善に資する研究・研修を推進する。</p>
	学年	全国平均値	区平均値																								
小学校 3 年生	65.5	67.7																									
4 年生	66.0	66.5																									
5 年生	68.6	65.4																									
6 年生	70.4	64.9																									
中学校 1 年生	59.9	60.6																									
2 年生	59.0	62.5																									
3 年生	63.7	69.8																									

教育ビジョン 2019	令和2年度		令和3年度の重点																														
	令和2年度の重点	●取組状況・成果    ◎今後の課題																															
【基本方針2】 確かな学力の育成	<p><b>■ 情報化に対応した教育の充実</b></p> <p>□情報モラルを高めるとともに、情報活用能力の基礎となる「プログラミング的思考」などを身に付けるため、一人一台の学習用コンピュータや電子黒板等のICT機器及び校内LAN等の整備を推進し、児童・生徒が、“いつでも”“どこでも”“どの教科等でも”使え、学びを深めることができる学習環境を整える。</p>	<p>●3年前倒しでタブレットPCの児童・生徒一人1台体制を実現した。</p> <p>●教育の情報化実態調査の結果</p> <p>「授業にICTを活用する能力について」 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>できる</td> <td>20</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>ややできる</td> <td>60</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>あまりできない</td> <td>20</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>できない</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>「児童生徒にICTを指導する能力について」 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>できる</td> <td>20</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>ややできる</td> <td>60</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>あまりできない</td> <td>20</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>できない</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>*調査時期：令和3年3月 *対象：全小・中学校教員</p> <p>●小・中各教科の教員の協力を得て、令和2年12月に「一人1台タブレットPC活用授業例 指導略案」を作成した上で、令和3年1～3月の間で、全小・中学校教員を対象にタブレットPC活用週間を実施し、各学校でのタブレットPCの活用の促進を図った。</p> <p>●「豊島区におけるGIGAスクール構想推進PT」及び小・中の教員で構成される組織を設置し、タブレットPCの利用上の課題について整理・議論・対応を図った。</p> <p>◎児童・生徒と教員が同じ環境でICTを活用した授業を行えるよう、同じタブレットPCを教員に配付する必要がある。</p> <p>◎教員にICT活用技術の向上とともに、特別支援教育や不登校対策等についての理解を深めさせ、個に応じた支援をICTで行えるようにしていく必要がある。</p>	回答	小学校	中学校	できる	20	48	ややできる	60	38	あまりできない	20	14	できない	0	0	回答	小学校	中学校	できる	20	54	ややできる	60	37	あまりできない	20	9	できない	0	0	<p><b>■ 情報化に対応した教育の充実</b></p> <p><b>修正</b></p> <p>□授業の質の向上と、学びを保障するために、児童・生徒一人1台タブレットPCの環境を効果的に活用し、学習活動の充実を図るとともに、発達段階に応じたIC活用能力や情報モラルの育成を推進する。</p> <p><b>修正</b></p> <p>□児童・生徒と教員が同じ環境でICTを活用した授業を行うため、教員のタブレットPCを一人1台整備する。また、これまでの教育実践がICTによっていかされるよう、教育委員会と学校が連携して、デジタル教科書の活用や家庭学習とリンクした取組を推進するほか、ICT活用週間の実施や優れた授業・教材のライブラリー化を促進する。</p>
		回答	小学校	中学校																													
できる	20	48																															
ややできる	60	38																															
あまりできない	20	14																															
できない	0	0																															
回答	小学校	中学校																															
できる	20	54																															
ややできる	60	37																															
あまりできない	20	9																															
できない	0	0																															

【基本方針3】

教育ビジョン 2019	令和2年度		令和3年度の重点																														
	令和2年度の重点	●取組状況・成果    ◎今後の課題																															
<p>【基本方針3】 豊かな心の育成</p>	<p>■ 道徳教育の充実</p> <p>□「特別の教科 道徳」においては、効果的な指導方法を区立小・中学校で共有し、授業改善の取り組みの一層の充実を図る。</p>	<p>●令和2年度 i-check の結果</p> <p>*対象学年：小学校3～6年、中学校1～3年</p> <p>①第1回 (上段：区 下段：全国) (率)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>質問</th> <th>小6</th> <th>中3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分なりに努力してうまくいったうれしかったことがありますか</td> <td>90.3</td> <td>89.6</td> </tr> <tr> <td>自分には、いいところがあると思いますか</td> <td>68.3</td> <td>67.2</td> </tr> <tr> <td>学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちから頼りにされているんだと感じることはありますか</td> <td>51.8</td> <td>51.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>52.4</td> <td>52.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>*実施時期：第1回 令和2年7月</p> <p>②第2回 (上段：区 下段：全国) (率)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>質問</th> <th>小6</th> <th>中3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分なりに努力してうまくいったうれしかったことがありますか</td> <td>90.2</td> <td>89.3</td> </tr> <tr> <td>自分には、いいところがあると思いますか</td> <td>63.8</td> <td>70.5</td> </tr> <tr> <td>学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちから頼りにされているんだと感じることはありますか</td> <td>55.0</td> <td>58.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>51.8</td> <td>51.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>*実施時期：第2回 令和2年10月</p> <p>●令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、年間で予定していた道徳地区公開講座は、地域に公開せずに実施した。</p> <p>◎道徳科を柱とした道徳教育や、人権教育プログラムを活用した人権教育の推進を徹底する必要がある。</p>	質問	小6	中3	自分なりに努力してうまくいったうれしかったことがありますか	90.3	89.6	自分には、いいところがあると思いますか	68.3	67.2	学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちから頼りにされているんだと感じることはありますか	51.8	51.8		52.4	52.3	質問	小6	中3	自分なりに努力してうまくいったうれしかったことがありますか	90.2	89.3	自分には、いいところがあると思いますか	63.8	70.5	学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちから頼りにされているんだと感じることはありますか	55.0	58.8		51.8	51.8	<p>■ 道徳教育の充実</p> <p><b>継続</b></p> <p>□「特別の教科 道徳」においては、効果的な指導方法を区立小・中学校で共有し、授業改善の取り組みの一層の充実を図る。</p>
	質問	小6	中3																														
自分なりに努力してうまくいったうれしかったことがありますか	90.3	89.6																															
自分には、いいところがあると思いますか	68.3	67.2																															
学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちから頼りにされているんだと感じることはありますか	51.8	51.8																															
	52.4	52.3																															
質問	小6	中3																															
自分なりに努力してうまくいったうれしかったことがありますか	90.2	89.3																															
自分には、いいところがあると思いますか	63.8	70.5																															
学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちから頼りにされているんだと感じることはありますか	55.0	58.8																															
	51.8	51.8																															
	<p>□学校における道徳教育の全体計画を整備し、「特別の教科 道徳」と各教科、総合的な学習の時間、特別活動等を関連付けて計画的・継続的に指導することにより、学校と家庭、地域が連携・協力した道徳教育を推進する。</p>	<p>●令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、年間で予定していた道徳地区公開講座は、地域に公開せずに実施した。</p> <p>◎道徳科を柱とした道徳教育や、人権教育プログラムを活用した人権教育の推進を徹底する必要がある。</p>	<p><b>修正</b></p> <p>□学校における道徳教育の全体計画に基づき、「特別の教科 道徳」と各教科、総合的な学習の時間、特別活動等を関連付けて計画的・継続的に指導することにより、学校と家庭、地域が連携・協力した道徳教育を推進する。</p>																														

【基本方針4】

教育ビジョン 2019	令和2年度		令和3年度の重点												
	令和2年度の重点	●取組状況・成果      ◎今後の課題													
<p>【基本方針4】 健やかな体の育成</p>	<p>■ 生涯にわたって運動に親しむ態度の育成</p> <p>□児童・生徒の健康や体力を保持増進していくため、効果的な指導方法の開発や、実践的な研修を推進する。</p>	<p>● 幼児・児童・生徒の学校事故（ケガ）発生件数（件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>校種</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>43</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>6</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>*ケガの内容：骨折、縫合、歯の破折等 *調査期間：令和元年度—12か月間（4～3月） 令和2年度—10か月間（6～3月）</p> <p>●令和2年度は、授業時数の確保を優先し、「国体力・運動能力・運動習慣調査」や「都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動能力調査」は希望校の実施のみだった。 ●運動会については、幼児・児童・生徒の体力に応じた種目を各校園で工夫を凝らして実施し、体を動かす喜びにつなげることができた。</p> <p>●国の「新たな生活様式」に係るガイドラインに基づき、消毒作業及び学校生活でのマスクの着用の徹底、給食の配膳等を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組んだ。 ●衛生用品や予算の不足を補うため、国の補助金を活用して、マスクや消毒的、飛散防止ガード等を購入し、校内での感染症予防ができる環境を整えた。</p> <p>◎令和3年度は、「国体力・運動能力・運動習慣調査」や「都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動能力調査」の成果等を基に、一人一人の状況を把握分析し、個に応じた指導の一層の充実を図る。 ◎感染症予防対策を最優先にしながらも、最大限幼児・児童・生徒の学びを保証していく。</p>	校種	令和元年度	令和2年度	幼稚園	3	1	小学校	43	42	中学校	6	11	<p>■ 生涯にわたって運動に親しむ態度の育成</p> <p><b>修正</b> □児童・生徒の健康や体力を保持増進していくため、効果的な指導方法の開発や、実践的な研修を推進する。<b>特に、長期の臨時休業によって低下した体力については、体育・保健体育の授業にとどまらず、教育活動全体で段階的、継続的に取り組み向上を目指す。</b></p> <p><b>継続</b> □学校は、学校行事も含めた、全体で取り組む体力向上にかかわる目標や、具体的な活動内容を計画的に実施して、児童・生徒の運動の質と量の確保に努めるとともに、児童・生徒が運動や健康づくりに関する関心を高め、自ら取り組む態度を育成する。</p>
	校種	令和元年度	令和2年度												
幼稚園	3	1													
小学校	43	42													
中学校	6	11													

【基本方針5】

教育ビジョン 2019	令和2年度		令和3年度の重点																																							
	令和2年度の重点	●取組状況・成果      ◎今後の課題																																								
【基本方針5】 一人一人を大切に する教育の推進	<p><b>■いじめ防止対策の充実</b></p> <p>□豊島区いじめ防止対策推進条例」及び「豊島区いじめ防止対策推進基本方針」に基づき、「学校いじめ対策委員会」の機能を強化するとともに、保護者や地域、関係機関等と連携した「組織的ないじめ防止対策」を一層推進する。</p>	<p>●問題行動調査におけるいじめの状況 「いじめの認知件数」 (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>1,426</td> <td>721</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>71</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table> <p>「令和2年度いじめの様態別件数」 (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>様態</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>からかい、冷やかし、悪口</td> <td>435</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>仲間はずれ、無視</td> <td>62</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>軽くぶつかり、蹴られる</td> <td>205</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>ひどくぶつかり、蹴られる</td> <td>22</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>金品のたかられ</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>金品を盗まれる、隠される</td> <td>22</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>危険なことをさせられる</td> <td>45</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>PC、携帯でのひぼう中傷</td> <td>14</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>*実施時期：令和3年3月31日</p> <p>●新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業による児童・生徒の心と体の心のケアの充実として、「校内心のケア委員会」を全校に設置し、組織的に対応した。</p> <p>●「豊島区いじめ問題対策委員会」を年3回開催し、区内各校で行われている具体的ないじめ問題への対応に係る報告やいじめ実態調査結果やその分析内容を報告した。第2回の委員会においては、西巣鴨中学校・朋有小学校の研究開発指定校による研究内容を、いじめ防止対策に関連する道徳科の授業として公開した。</p> <p>◎児童・生徒が主体となっていじめ防止に取り組むなどにより、一層の学校におけるいじめ防止等に関する取り組みを推進する必要がある。</p> <p>◎定期的に SNS ルールの見直しを行う等、情報モラル教育を推進する必要がある。</p>		令和元年度	令和2年度	小学校	1,426	721	中学校	71	63	様態	小学校	中学校	からかい、冷やかし、悪口	435	45	仲間はずれ、無視	62	7	軽くぶつかり、蹴られる	205	8	ひどくぶつかり、蹴られる	22	1	金品のたかられ	2	0	金品を盗まれる、隠される	22	0	危険なことをさせられる	45	0	PC、携帯でのひぼう中傷	14	6	その他	10	3	<p><b>■いじめ防止対策の充実</b></p> <p><b>継続</b></p> <p>□豊島区いじめ防止対策推進条例」及び「豊島区いじめ防止対策推進基本方針」に基づき、「学校いじめ対策委員会」の機能を強化するとともに、保護者や地域、関係機関等と連携した「組織的ないじめ防止対策」を一層推進する。</p>
		令和元年度	令和2年度																																							
小学校	1,426	721																																								
中学校	71	63																																								
様態	小学校	中学校																																								
からかい、冷やかし、悪口	435	45																																								
仲間はずれ、無視	62	7																																								
軽くぶつかり、蹴られる	205	8																																								
ひどくぶつかり、蹴られる	22	1																																								
金品のたかられ	2	0																																								
金品を盗まれる、隠される	22	0																																								
危険なことをさせられる	45	0																																								
PC、携帯でのひぼう中傷	14	6																																								
その他	10	3																																								
	<p>□いじめに関する教職員研修、児童・生徒がいじめ問題について自ら考え話し合う授業、人間関係に関する定期的なアンケート等、いじめの未然防止に向けた取り組みの充実を図る。</p>	<p>●「豊島区いじめ問題対策委員会」を年3回開催し、区内各校で行われている具体的ないじめ問題への対応に係る報告やいじめ実態調査結果やその分析内容を報告した。第2回の委員会においては、西巣鴨中学校・朋有小学校の研究開発指定校による研究内容を、いじめ防止対策に関連する道徳科の授業として公開した。</p> <p>◎児童・生徒が主体となっていじめ防止に取り組むなどにより、一層の学校におけるいじめ防止等に関する取り組みを推進する必要がある。</p> <p>◎定期的に SNS ルールの見直しを行う等、情報モラル教育を推進する必要がある。</p>	<p><b>修正</b></p> <p>□いじめに関する教職員研修、児童・生徒がいじめ問題について自ら考え話し合う授業・SNSの活用について考える授業・人間関係に関する定期的なアンケート・校内心のケア委員会、等、いじめの未然防止に向けた取り組みの充実を図る。</p>																																							



教育ビジョン 2019	令和2年度		令和3年度の重点																								
	令和2年度の重点	●取組状況・成果 ◎今後の課題																									
【基本方針5】 一人一人を大切に する教育の推進	<p><b>■ 不登校対策の充実</b></p> <p>□適応指導教室を充実し、目的としてきた学校復帰に加え、社会的自立に向けた居場所機能、学習機能、社会への適応支援機能を強化して、一人一人の児童・生徒の実態に応じた支援に努める。</p>	<p>●問題行動調査における不登校の状況 「不登校の発生率」 (上段：人・下段：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>校種</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>65 0.75</td> <td>81 0.91</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>109 4.36</td> <td>117 4.50</td> </tr> </tbody> </table> <p>「適応指導教室に通級している人数」 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>校種</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>*実施時期：令和3年3月31日</p> <p>●適応指導教室に通う児童・生徒や、家庭内に引きこもる生徒を対象に生活体験型プロジェクトを検討するも、新型コロナ感染予防のため、実施できなかった。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症不安による欠席数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>校種</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>241</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>*実施時期：令和3年1月12日</p> <p>●学期当初定期的に、コロナ不安による欠席者を把握し、不登校率を算出することにより、児童・生徒の心理的・体力的な負担等を分析した。</p> <p>●中学校の「登校しぶり」の生徒への支援状況等の詳細を確認するため、指導主事等が各中学校を訪問し、校長・副校長に聞き取り調査を行うとともに、積極的に関係機関との連携を促す等の助言を実施した。</p> <p>◎一人1台PCを活用し、教室以外の場で、学べる環境の確保が求められている。</p> <p>◎オンライン相談を実施するなどきめ細かな教育相談の実施を促進する必要がある。</p> <p>◎不登校対策検討委員会を設置して、区としての不登校対策を講じて、不登校の未然防止、早期支援の体制を整備する必要がある。</p>	校種	令和元年度	令和2年度	小学校	65 0.75	81 0.91	中学校	109 4.36	117 4.50	校種	令和元年度	令和2年度	小学校	8	8	中学校	28	28	校種	令和2年度	小学校	241	中学校	16	<p><b>■ 不登校対策の充実</b></p> <p><b>修正</b></p> <p>□ICTも活用し、学籍校と適応指導教室及び教育センターが連携した相談支援体制を充実させるとともに、学校復帰や自立支援を基本としつつ一人一人の児童・生徒の実態に応じた支援に努めた学びの場を確保する。</p> <p><b>修正</b></p> <p>□不登校対策検討委員会や不登校対策会議の実施、心理士・SSWの活用、学校及び教育センター・指導課の連携強化等により、不登校の未然防止、早期発見・早期対応、切れ目のない支援の充実を図る。</p>
	校種	令和元年度	令和2年度																								
小学校	65 0.75	81 0.91																									
中学校	109 4.36	117 4.50																									
校種	令和元年度	令和2年度																									
小学校	8	8																									
中学校	28	28																									
校種	令和2年度																										
小学校	241																										
中学校	16																										

教育ビジョン 2019	令和2年度		令和3年度の重点																		
	令和2年度の重点	●取組状況・成果 ◎今後の課題																			
【基本方針5】 一人一人を大切に する教育の推進		<p>●知的固定学級在籍児童・生徒数(上段:人 下段:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>79 0.9</td> <td>83 0.9</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>33 1.3</td> <td>36 1.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>●特別支援教室利用児童・生徒数(上段:人 下段:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>367 4.3</td> <td>380 4.3</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>70 2.8</td> <td>79 3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>●東京都教育委員会学校におけるインクルージョンに関する実践的研究事業を受け、要小学校をモデル校として、通常学級と知的特別支援学級の児童の交流及び共同学習の促進を図った。</p> <p>●まとめ展では、小中のブロックごとに発表活動を行うことができた。</p> <p>●コロナ感染予防対策を講じながら、2月末までに計110回の就学相談説明会を実施した。</p> <p>●就学相談委員会及び専門家チームの派遣については、開始時期は遅れた。</p> <p>◎特別な支援を要する児童・生徒の増加により、教育内容・指導体制の充実、組織的・継続的な支援体制の整備を進めることが急務である。</p> <p>◎交流及び共同学習については、単発的な交流が中心であったり、知的固定学級設置校の活動にとどまっていることから、日常的に行えるよう教職員の理解促進や研修等を通じて、専門性を向上していく必要がある。</p>		令和元年度	令和2年度	小学校	79 0.9	83 0.9	中学校	33 1.3	36 1.4		令和元年度	令和2年度	小学校	367 4.3	380 4.3	中学校	70 2.8	79 3.0	<p>■特別支援教育体制の充実</p> <p><b>新規</b></p> <p>□インクルーシブな教育を推進するために、教職員の特別支援教育への理解を深めることや、多様で柔軟な仕組みを備えた教育環境の整備を検討する。</p> <p>□より丁寧な就学相談を進めるために、ICTの活用や専門職の専門性の向上等、相談体制の強化を図る。</p>
		令和元年度	令和2年度																		
小学校	79 0.9	83 0.9																			
中学校	33 1.3	36 1.4																			
	令和元年度	令和2年度																			
小学校	367 4.3	380 4.3																			
中学校	70 2.8	79 3.0																			

教育ビジョン 2019	令和2年度		令和3年度の重点									
	令和2年度の重点	●取組状況・成果 ◎今後の課題										
【基本方針5】 一人一人を大切に する教育の推進		<p>●外国籍在籍者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>25</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>●在籍者は、中国国籍の児童・生徒が約6割を占めている。</p> <p>●令和2年度から主たる使用教材を豊島区採択の小学校国語教科用図書と日本語学級I・II(市販教材)とを併用したため、積上型の指導が可能となった。</p> <p>●日本語指導の習得における「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」の4技能の評価基準を定め、特に作文指導に力を入れることで日本語の文構成の定着が図れた。</p> <p>●コロナ禍で通級を自主的に停止している児童の一部に対して、ICTを活用して繋がれることを確認できた。</p> <p>◎今後も、継続して指導法や指導時間の見直しとグループ編製の組み換えにより、児童・生徒一人一人に対する指導の充実を図ることが必要である</p> <p>◎対面実施を基本としつつも、オンラインで実施できるよう環境及び体制を整備する必要がある。</p> <p>●豊島区が「SDG未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定され、全庁的にSDGsに係る取り組みを推進されている。</p> <p>●教育委員会においても、小・中学校用のポスターを作成し、今後配付予定。</p> <p>●学校においては、巣鴨北中学校が都の推進校としてSDGsに関連した学習展開を行ったり、仰高小学校が地域と連携してSDGsに取り組むなどしている。</p> <p>◎今後は、2030年のSDGsの目標を達成するために、全小・中学校でSDGsに関連する取り組みを推進するとともに、区長部局と連携し、子ども・学校・地域が一体となって取り組む必要がある。</p>		元年度	2年度	小学校	25	17	中学校	12	15	<p><b>■日本語教育の充実</b></p> <p><b>新規</b></p> <p>□日本語指導が必要な児童・生徒が円滑に学校生活を送ることができるよう、日本語の習得に向けた初期指導を重視するとともに、発達段階に応じて段階的で系統的な指導の充実を図る。</p> <p><b>新規</b></p> <p>□日本語教育をオンラインでも実施できるようICT環境及び体制を整備するとともに、指導面における効果的な活用方法等を検討する。</p> <p><b>新規</b></p> <p><b>■SDGsの推進</b></p> <p>□区長部局と連携し、学校と地域の特色を活かしながら、学校と地域が一体となったSDGs達成に向けた取り組みを推進する。</p>
		元年度	2年度									
小学校	25	17										
中学校	12	15										

【基本方針6】

教育ビジョン 2019	令和2年度		令和3年度の重点												
	令和2年度の重点	●取組状況・成果 ◎今後の課題													
【基本方針6】 教師力の向上 と魅力ある学 校づくり	<p><b>■ 学校の働き方改革の推進</b></p> <p>□「豊島区立学校における働き方改革推進プラン」に基づき、教員一人一人の心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整備する。この取り組みを着実に推進することにより、教員の長時間労働の改善を含めたワーク・ライフ・バランスの実現につなげるとともに、学校教育の質の維持向上を図る。</p>	<p>●教員の平均在校等時間 (時間：分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平日</th> <th>土曜日</th> <th>1週間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>10:00</td> <td>10:28</td> <td>60:29</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>9:19</td> <td>7:24</td> <td>54:04</td> </tr> </tbody> </table> <p>*対象：全教員（管理職も含む） *測定時期：令和2年11月—1か月の平均</p> <p>●出退勤システムの導入により、在校等時間の把握及び見える化が可能となったが、打刻と旅行・休暇申請が連動していないため、正確な在校等時間の分析が行えていないため、庶務事務システムの導入が不可欠である。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の対応に伴い、従来通りの教育活動を行うことができなかつたことに加え、プランの改定に必要な進捗状況を確認する効果測定を行うことができなかつた。</p> <p>◎「新しい生活様式」や「タブレットPC 一人1台体制」などプラン策定時には想定できなかつた教育現場の環境変化があり、現状に即した学校働き方改革を推進していく必要がある。</p>		平日	土曜日	1週間	小学校	10:00	10:28	60:29	中学校	9:19	7:24	54:04	<p><b>■ 学校の働き方改革の推進</b></p> <p><b>修正</b></p> <p>□教員一人一人の心身の健康保持の実現と、<b>教職員の人事体制と事務負担軽減を図り</b>、教員の長時間労働の改善を含めたワーク・ライフ・バランスの実現につなげるとともに、学校教育の質の維持向上を図る。<b>また、継続した在校等時間の分析及び「豊島区立学校における働き方改革推進プラン」に係る効果測定を行い、教育現場の状況に対応した働き方改革を進めていく。</b></p>
		平日	土曜日	1週間											
小学校	10:00	10:28	60:29												
中学校	9:19	7:24	54:04												
<p><b>■ 学校施設の長寿命化計画と学校施設の施設更新</b></p> <p>□学校施設に求められる機能・性能を確保するため中・長期的な維持管理及び更新等の方針を示す「学校施設の長寿命化計画」を策定する。整備にあたっては、改築校と同等の教育環境が実現でき、工事期間の短縮と整備に必要な経費の抑制を図ることができる、豊島区版の長寿命化改修（スーパーリニューアル）を導入していく。</p>	<p>●築50年以上の学校施設が全体の60%（20施設）であり、持続可能な教育環境の整備に向け計画的な改築・改修の実施が求められている。</p> <p>●令和2年度は、計画策定委員会を4回開催し長寿命化計画の内容を検討したが、新型コロナウイルスの影響により、財政的な見通しが立たないことから策定に至らなかつた。</p> <p>◎令和3年度は、35人学級やバリアフリー法の改正などについて念頭に入れた上で、長寿命化計画を策定する必要がある。</p>	<p><b>■ 学校施設の長寿命化計画と学校施設の施設更新</b></p> <p><b>修正</b></p> <p>□学校施設に求められる機能・性能を確保するため、中・長期的な維持管理及び更新等の方針を示す「学校施設の長寿命化計画」を策定する。整備にあたっては、<b>バリアフリーの確保や「35人学級」に対応するための普通教室の確保も見据え</b>るとともに、<b>従来の改築に加えて改築校と同等の教育環境が実現でき、整備に必要な経費の抑制を図ることができる</b>、豊島区版の長寿命化改修（スーパーリニューアル）を導入していく。</p>													

【基本方針7】

教育ビジョン 2019	令和2年度		令和3年度の重点								
	令和2年度の重点	●取組状況・成果 ◎今後の課題									
【基本方針7】 家庭と地域の 教育力の向上	<p>■ 地域ぐるみで学校を支援する仕組みづくり</p> <p>□子供たちが地域の協力を得て成長していくことができる体制の充実を図り、学校を拠点とし、連携・協働を推進するための組織的・継続的な仕組みの構築を進める。</p>	<p>●子どもスキップ利用者数 (人)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <td>184,217</td> <td>390</td> </tr> </table> <p>●学童クラブ利用者数 (人)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <td>332,612</td> <td>301,787</td> </tr> </table> <p>●臨機休業中も区民ひろば課等の応援を受け、学童クラブの応急利用を実施した。(校庭開放も実施)。 また、子どもスキップをオンラインも開催した</p> <p>●高齢のスキップ職員を中心に、新型コロナの感染リスクを恐れての休職・退職が増加した。</p> <p>◎スキップ運営については、今後は、地域の方々の協力を得た双方向でのオンライン開催を実現し、コロナ禍でも遊びや学習、スポーツを通して、地域との交流を復活できるようにする必要がある。</p>	令和元年度	令和2年度	184,217	390	令和元年度	令和2年度	332,612	301,787	<p>■ 地域ぐるみで学校を支援する仕組みづくり</p> <p><b>修正</b></p> <p>□ICTを活用し、子供たちが地域の協力を得て成長していくことができる体制の充実を図る。 また、学校及びスキップを拠点とし、<b>コロナ禍でも安心して地域と連携・協働を推進するための組織的・継続的な仕組みの構築を進める。</b></p>
	令和元年度	令和2年度									
184,217	390										
令和元年度	令和2年度										
332,612	301,787										
<p>□豊島区の地域にあったコミュニティースクールの仕組みを構築することにより、子供のよりよい育ちを地域ぐるみで支援する、質の高い学校教育の実現を図る。</p>	<p>●令和元年度から引き続き、千登世橋中・池袋本町小学校においてもモデル事業を実施した。</p> <p>●11月から学識経験者、学校、地域、行政関係者を委員として「豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会」を設置し、モデル事業の成果と課題を踏まえた「豊島区の地域にあったCS」を検討している</p> <p>◎令和3年度は、5月中に「豊島区の地域にあったCS」をまとめるとともに、モデル校2校の本格実施を目指す。</p>	<p><b>修正</b></p> <p>□また、豊島区の地域にあったコミュニティ・スクールの検討を行い、既存モデル校2校の本格実施を目指す。また、豊島区CSガイドラインの作成、活用により、CS本格実施校の拡大を図り、子供のよりよい育ちを地域ぐるみで支援する、質の高い学校教育の実現を図る。</p>									